

# 日本古典『今昔物語集』の描く平安京

日本最大の説話集である『今昔物語集』は、インド・中国・日本の一千話以上の不思議な物語を集めた、日本のアラビアンナイトとも言うべき作品です。なかでも、平安時代の京都を舞台とした物語には特に魅力的なものが多く、芥川龍之介をはじめ多くの作家が小説の題材としてきました。

『今昔物語集』の描く平安京は、『源氏物語』や『枕草子』が記したような上級貴族の世界ばかりではありません。中・下級貴族の悲哀と滑稽さ、武士という新興勢力の不気味さ、庶民のしたたかさを生き生きと描写し、夜には物の怪や盗賊が跋扈する様子さえも見てきたような臨場感あふれる筆致で伝えていきます。これらの説話の舞台となった場所を地図で示しながら、平安京という千年の都の本当の姿をご紹介しますと思います。



講師 **三田 明弘** (みった あきひろ) 教授

日本女子大学 国際文化学部 国際文化学科 教授。  
早稲田大学大学院文学研究科 日本文学専攻博士課程修了。博士(文学)。  
『今昔物語集』に対する中国古典文学の影響が主な研究テーマ。  
2005年より日本女子大学に勤務。国際文化学科において、日本文化及び中国文化に関する授業を担当している。

日時

2025 年 6 月 22 日(日) 13:30~15:00

会場

川崎市生活文化会館 てくのかわさき

川崎市高津区溝口1-6-10

- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」北口より徒歩5分
- 東急田園都市線「溝の口駅」より徒歩5分

定員

**30名** 参加費無料 他支部、一般の方の参加歓迎です。

申込み  
問合せ

桜楓会川崎支部長 荒井路子(新27理II)

TEL:080-5037-7712  
michiko.arai@icloud.com

## 「講師派遣事業」とは

支部主催の講演会を、桜楓会会員をはじめ広く地域の方も参加可能として開催することを条件に、講師謝金・旅費交通費・旅行傷害保険(地方支部講演会の場合)を負担し、理事会が委嘱した大学教員を講師として派遣する桜楓会の公益事業のひとつです。